

ふかまのまど

第七〇号 一六年十二月一日
発行元 深町連合町内会
連絡先 六三三三九二一

中組町内会だより

中組親睦旅行を終えて

中組町内会長 平岡 博司
十一月十二日(土) 中組親睦旅行を実施しました。朝は放射冷却により気温も低下した中、六十八名の参加を頂き朝八時三〇分出発しました。やまなみ街道(中国横断道)を一路目的地に出雲へ、道中朝の冷え込みをうけ幻想的な霧の中、高度があがり霧が晴れると山の木々の紅葉が見られバス内から感嘆の声、思わずカメラでパチリ、しかし県境を越えるると以外にも紅葉は何所へ?そんな・うそと言いなから、島根ワイナリーに到着、店に入ると我先に先ず試飲!コップが小さいのだ・甘いのだ・辛いだの言いながら、あとで少し飲みすぎたかなと反省、さあ次は出雲大社、到着後ガイドさんの説明を聞きながら大社内一巡、神楽殿にて四五円賽銭箱へ。



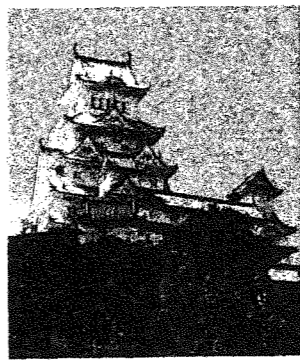
“二礼四拍手一礼”何をお願いしたのか(縁結びの御利益に期待)又、しめ縄の大きさにあらためて感嘆の声、どのくらい藁があるのか?落ちないのかな(四・五トン)? 呟きながら昼食、食べきれない人、ビールを飲みながら食事する人、黙々と食す人、腹いっぱいになり、次の目的地フォーゲルパーク(花と動物の楽園)へ移動、入場するなり天井から色とりどりの花を目の当たりにして、また感嘆の声(ウワー綺麗!) 丁度フクローのショーが始まり、飼いならされたフクローが縦横無尽に飛び回る姿に驚きを(一羽ポイコトト有り) ショーが終わると各自園内散策、疲れモードの人は、ソフトクリームを食しながらお花の中で休憩・おしゃべりと、あつという間の九〇分、そろそろお帰りモードと予定時間に帰路となる。天候は一日中秋晴れ、行楽日和でした。
旅行中バス内では、バスガイドさんの軽妙な話術の、笑い・驚き・関心、時に歌ありと車内の盛り上がりは流石と言うほかありませんでした。帰路最後はクイズ(頭の体操)、疲れた中で心配はありましたが、これまた盛り上がり最後まで車内は笑いが絶えることなく楽しい旅行になったかなと思われました。役員は不慣れな中、準備から終了までのお世話感謝いたします、今回の旅行に関し意見等一報頂ければ幸いです。

下組町内会だより

下組町内会親睦旅行

行先・姫路・龍野方面

下組町内会長 迫 博明



参加者総勢三十七人。十月三十日(日)午前八時最初の目的地、国宝で、日本初の世界文化遺産に登録された姫路城へ向け出発。姫路城に着き、保存修理工事終了で白く輝く天守閣の美しい姿に感激。観光客が多く、何度も足止めをくい、天守閣内を見学しながら、最上階(六階)まで上がる事が出来ひと安心。予定見学時間二時間は、短く感じました。

昼食後、次の目的地揖保の系そうめん(の里)では、そうめん作り行程、わけ箸でそうめん(の太さをそろえる実技見学、機械製造の今でも、全ての工場で、最後にはわけ箸でふとさをそろえているそうです。歴史他のビデオ鑑賞、最後にそうめん(の試食)美味!

最後の目的地、うすくち龍野醤油資料館では、ビデオ説明があり、醤油作りの手順が解るよう(に、使用していた道具などが展示されており見学。龍野を流れる揖保川の水は鉄分が少ない軟水で、うすくち醤油を作るのに適していたそうです。行楽日和に恵まれ、親睦を深めることができ、楽しい旅行でした。旅行が無事終わりました。お待ちしております。

世話をしてくださいました役員の方、旅行に参加して頂いた方、有難うございました。ご苦労様でした。

深町子どもを守る会

子どもをみんなで見守りましょう



深小の子供は

○午後四時過ぎに下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。

○あいさつ、

声かけをしましょう。

「ふかまのまど」 ホームページのアドレスは
<http://www.icat.ne.jp/~fuka/top.html>

深小だより

「希望と未来フォーラム」

参加して

深小学校長

赤羽 邦子

十月二十二日、リージョンプラットフォームにおいて「希望と未来フォーラム」が開催されました。このフォーラムの趣旨は、「三原の未来を担う小・中学生による優れた学校文化の披露や、「希望と未来」をテーマとする講演を通して、お互いを磨き、創造性や自律性の伸長を図り、本市全体の学校文化の質を高めること」です。深小学校は合唱部門に全校で出場することができ、「スマイル・アゲイン」「太陽のサンバ」の二曲を発表しました。本校では、数年前から全校合唱に取り組んでおり、現在は、毎週金曜日を音楽朝会として位置付け、歌声を響かせています。一年生も入学当初から上級生のきれいな歌声を聴くことにより、自然に曲想をとらえたりきれいな歌声で歌ったりすることができるようになります。大きな舞台でも伸び伸びと表現できる力を一人一人に育んでいくこと、今年度は特に「表情豊かに表現すること」を目標としました。
深小学校の児童は当日、リージョンプラットフォームの大きな舞台で、七十二人の素直で元気いっばいの歌声を届けることができました。発表後は、参加した他校の「伝統文化」や「三原市(地域)の歴史」、「三原の子どもたち」の最優秀作品の発表などを聞き、全校で学ぶ一日となりました。
午後からは、記念講演として九州大学助教授佐藤剛史先生より「子供の心も育む食」をお聴きしました。講演の中では、「一人一人の命の重み」について、また何気ない毎日の食事が、子供と家族の絆を深め、心を育んでいた実話が紹介されました。「心も育む食」と言う演題の通り、「食」は食事をしっかりと摂ることのみでなく、親からの愛情を感じ、子供の心を育むことにつながると感じました。生活の多様化や時間に追われる生活の中で、ややもすれば手に入りやすい食事で済ませてしまうという姿が現実にはあると思います。将来大人になっていく子供たちに、食の温かさや家族との温かい時間をつくることは、とても大切なことだと感じました。改めて、現在三原市で取り組んでいる「金のルール」(早寝・早起き・朝ごはん・読書・あいさつ・靴そろえ)を充実させていきたいと思いました。
今学期も残すところ、一か月余りとなりました。学校での生活リズムを大切にしながら、二学期のまとめを行っていききたいと思えます。

謹んでお悔み申し上げます

石井 静夫 様 九十三歳
(上組 高下講)十一月二十一日

深町各種団体十二月行事予定

小学校	一日
登校指導	一日
委員会活動	二日
P.T.A役員会	二日
市P連球技大会	四日
学区児童会	七日
読み語りの会「ほけつと」	八日
放課後子ども教室	九日
下校指導	九日
廃品回収予備日	一日
体重測定(低)	一日
体重測定(高)	三日
読み聞かせ(教室)	四日
読書活動	五日
避難訓練(火災)	九日
終業式 個人懇談	二二日
仕事納め	二八日
年末の休日	二九、三〇、三一日
如水館中学・高校	二二日
中・三期末試験③④	一、二日
中二学習旅行②③④⑤⑥⑦	一、二日
高一・三期末試験③④	一、二日
身だしなみ週間	五、九日
献血(高二、三希望者)	九日
消防訓練	九日
高三学年朝会	一日
高一学年朝会	一日
高二学年朝会	一日
(中)かるた大会	二二日
終業式	二二日
保護者会①②	二六、二七日

環境会議の城山手入れ

中組 高崎 修

十月二十二日頂上部の草刈・小木の伐採等を会員十二人が参加して実施しました。途中から雨となり早めに終わりとしたため予定していた、花木の植付けは延期となりました。数日後、頂上広場の東側にさざんか、もみじ、銀もくせい、合計九本を植えました。



これまでの、桜、はなみずきと共に元気に成長してくれることを願っています。

短歌・俳句・詩

中組仲峠講 竹内ひろみつ

杖を突き数歩あゆんで腰を伸ばし
長生きするのも如何かと思ふ

われの事ちいちいと呼びて祖父の事

とち君と呼ぶひ孫の知恵よ

ひ孫の七五三の晴れ姿

ドレスをまとい三才のはにかみ

如水館中学高等学校だより

創造アイデア

ロボットコンテスト
中学校ロボット研究部
部長 横田 偉

私達ロボット研究部は、十一月十三日(日)に庚午中学校で行われた創造アイデアロボットコンテスト広島県大会に二チームが参加し、一位、二位を獲得することができました。県大会で、良い成績を残すために、皆でロボットの製作を工夫しました。アイデアを形にしては、試運転をして良くないところが出れば改良し、何度も試しながら良いロボットへ仕上げていきました。

操縦練習にも工夫を加え、操縦者の苦手な部分を中心に、練習するようにしました。平成十八年十二月四日(日)に開催される、中国・四国地区予選大会(米子市民体育館)に向けて、さらにロボットを改良し、完璧な状態で大会に出場できるようにしていきます。

応援よろしくお願いします。

歩く会(2)に参加を

歩く会幹事 石井堂照
本郷一楽池ふれあいの里



月日 十二月六日(火)
予備日 十二月九日(金)

行程
八時 三〇分 深上組公民館発(車)
九時 三〇分 一楽池周辺探訪
十一時三〇分 探訪終了、昼食
十三時〇〇分 深上組公民館着(車)

深町の植物

力石 卓夫(三原市宗郷)



名前の由来、その葉が風にそよいでサヤサヤとかシャカシャカ音を立てるとい意味の「戦(そよ)ぐ」が語源だとされています。また風にそよぐのでソヨゴ。

※十二月十日撮影

第二中学校だより

防災学習を終えて

三原二中一年 友井 海月



僕は、防災学習の時間に、阪神淡路大震災で役に立ったグッズについて調べました。

なぜ僕が、防災グッズについて調べたかというと、よく災害が起きたときのために、防災グッズを準備しておきましようというのを聞いて、何を準備すればいいのか、どんな物が役に立ったのか、どんな物が役に立たなかったのか分からなかったからです。防災グッズについて調べて、たくさん持って避難すれば良いわけではないことがわかりました。それは、災害が起きたら一番に自分の命を守らなければいけないので重たい荷物を持って避難するのは危ないからです。だから、避難するときは、最低限必要なもので最大限に安全を確保することが大切だと分かりました。

防災学習を終えて、避難するときはたくさん荷物を持って避難するのは、最大限に安全を確保しなければいけないことが分かりました。だから今から、防災グッズを準備して、もし災害が起きたら、命を守るのに必要でないものを置いて、避難所で安全にすごしたいと思います。

防災学習を終えて

三原二中一年 寺田 慎之介



僕は、防災学習を終えて、防災学習をする前には知らなかったことをたくさん知りました。災害に対する考えも変わりました。

まず、僕の班は「災害から身を守るポイント」について調べました。それで分かったことは、事前にひなんする時に必要なものを準備しておくことが大切だということです。災害が起こる前に準備しておくこと、いざ災害が起きた時にすぐに逃げる事ができます。

他に分かったことは、災害が起きてあわてずに冷静な判断をする、ということ。あわてていたら普段考えられることも考えられなくなり、あわててあわてている間に家などがくずれてしまうということがあるかもしれない。

僕は、防災学習を通して災害に対する考えも変わりました。防災学習をするまでは、自分の住んでいるところに災害なんて来ないと思っていた。でも、もしもに備えるということ。速やかにひなんできるし、命を守れるということを感じました。防災学習で学んだことをこれから活かしていきたいです。

TBG協会だより

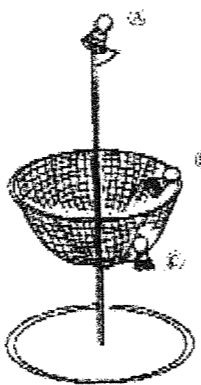


第三回三原市ターゲット・バードゴルフ大会

第三回三原市TBG大会が十月二十三日(日)深町・城山コースにて行われました。三原市内より、二十七名の参加者で行われました。

女子の部

- 一位 宗利 枝実(皆実町)
- 二位 安藤 志保(深町・中組)
- 三位 佐野 容子(上組)
- シニア男子の部(七十歳以上)
- 一位 高崎 修(深町・中組)
- 二位 谷岡 義昭(下組)
- 三位 志水 孝則(下組)
- 一般男子の部
- 一位 吉川 道一(港町)
- 二位 船本 雄三(深町・中組)
- 三位 森川 正文(長谷町)
- ベスグロ五十六
- 吉川 道一(港町)
- ホールインワン
- 林 洋祐(深町・上組)
- 桑木 直行(皆実町)



次回大会は、十二月十一日(日)に実施します。

*選手の敬称略

TBG事務局 天木 雅之

お願い

ニチエー・中之町店
コミュニティボックス設置
この度、ニチエー・中之町店様にコミュニティボックスを設置する事になりました。同店で買い物をされた時のレシートをコミュニティボックス「三原市TBG協会」に入れて頂きますようお願いいたします。期間は十一月一日から平成二十九年一月末日までの三ヶ月間です。

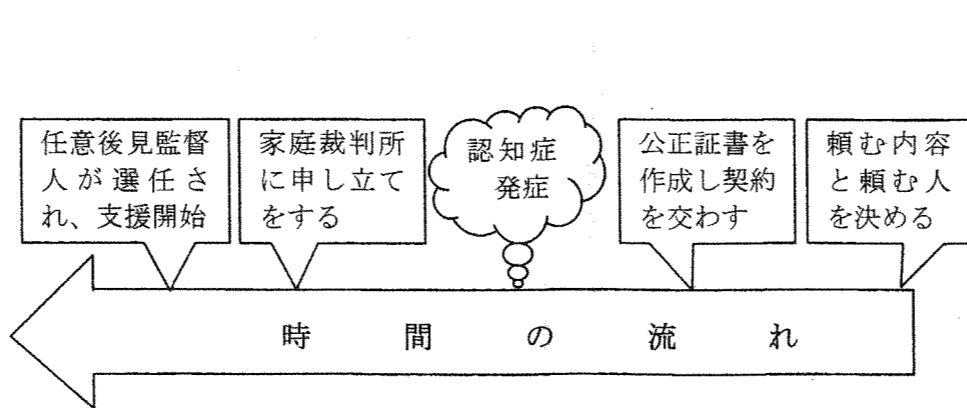
高齢者相談センター
どりのいむだより
電話 六一一四四一〇

秋になると、いろいろな旬の食材がお店に並び、見ているだけで楽しくなります。食欲の秋をしつかり楽しんで、寒い冬に向けて体力をつけていきましょう!

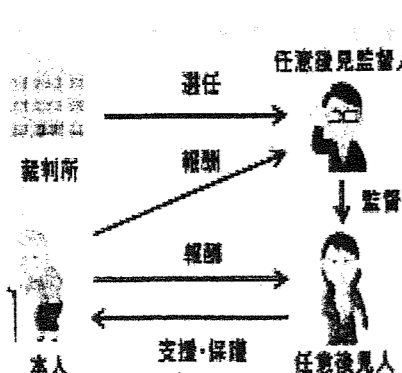
任意後見制度について

◎成年後見制度とは
認知症などで、物事を判断する能力が低下して、医療や介護サービスなどの契約や、財産の管理が難しくなった人を支援する制度です。

◎任意後見制度とは
まだ物事を自分で判断できる能力があるうちに、将来、認知症などで判断能力が低下したときに支援してもらいたい人(任意後見人)をあらかじめ決めておく制度です。



任意後見制度の良いところは、認知症などで判断できなくなつた時に、あらかじめ決めておいた自分の希望する生活を送ることができるところです。



高齢者相談センターどりのいむでは、成年後見制度だけでなく、あらゆる相談に応じています。お気軽にご相談ください。(相談は無料です)